

第133回通常議員総会議事録

招集年月日 令和6年3月 4日
開催日時 令和6年3月26日(金)午後3時00分～午後3時50分
開催場所 恵那峡グランドホテル(恵那市大井町恵那峡)
出席者 議員定数90名のうち本人出席45名、委任状出席45名

(1) 開 会 定刻となり、事務局より第133回通常議員総会の開会を宣した。

(2) 会頭挨拶 恵那商工会議所第133回通常議員総会の開会に当たりご挨拶をした。
詳細別紙のとおり

事務局より、本総会の現時点での出席者45名、委任状出席者45名であり、総議員定数90名のうち半数以上の出席を満たしているため、本総会は有効に成立し、また、定款43条より議事録署名人は議長及び出席した役員である旨を議場に報告した。

(3) 議長選出 事務局から定款40条により会頭が議長を務める旨を報告した。
会頭は、議長就任の挨拶を述べた後、直ちに議事に入った。

(4) 議案審議

第1号議案 定款の一部改正について

議長は、第1号議案について事務局に説明を求めた。

事務局より定款の一部改正について資料に基づき説明した。

議長は第1号議案について議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

第2号議案 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

議長は、第2号議案について事務局に説明を求めた。

事務局より令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について別冊資料に基づき説明した。

議長は第2号議案について議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

第3号議案 常議員・監事の補充選任について

議長は、第3号議案について事務局に説明を求めた。

事務局は常議員に議員から東美濃農業協同組合 常務理事 渡邊裕之氏を選任し、監事に会員より東濃信用金庫恵那支店 支店長水野賢哉氏を選任したい旨を説明した。

議長は第3号議案について議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

選任された常議員・監事より挨拶が述べられた。

議長は、以上で本日提案した議案審議が終了したので、議場に謝意を述べ議長を降りた。

(6) 閉 会 事務局は第133回通常議員総会の閉会を告げ、時に午後3時50分であった。

※阿部会頭挨拶（要約）

本日は、年度末の大変雨が激しく降る足元の悪い中、通常議員総会にお越しいただき、心より感謝申し上げます。商工会議所としての区切りの年度が間もなく終わろうとしております。

「経済を中でまわし、三方よしの恵那を築く」の理念の下に、新しい委員会を立ち上げて活動をしてまいりました。経済を中で回すには、人口減少の中、いかにその事業を存続させられるかが、最も大切ということで、事業継承に今後、力を入れていきたいという話を以前にさせていただきました。その中でも、常議員会の加入退会資料でご覧いただくように、後継者がいないための廃業という事例が後を絶ちません。中でも痛恨の極みは、中山道大井橋横にある大津屋さんです。ご承知の方も多と思いますが、消費期限3時間という栗粉餅が有名で、人気を博しておりました。休みの日なんかは長蛇の列ができて、遠方からもわざわざそこへ来て食べて帰る。というお客さんがいたほどの人気店ですが、やはり後継者がいないという事で廃業してしまいました。

コロナの影響で、職員が行う会員支援巡回も、足が重くなり、3年間ほとんど動きができずにいた中、情報入手が遅くなり、話を伺ったときには既に時遅しで、店主が決められたことは覆りませんでした。

もっと早くそのニュースを聞いていれば、承継者を見つけて、栗粉餅が存続できたかもしれません。店がなくなるのは地域にお金を落としていただく事がなくなるということになり、恵那地域のみならず社会全体の損失です。

昨年は東濃信用金庫さんと日本政策金融公庫さんと協定を結び、事業承継に関する情報を共有して、マッチングを進めて行きたいと考えています。M&Aを扱う会社は小規模な事業は扱いません。スモールM&Aを成し遂げるためにプラットフォームになり得るのは 地域に密着した商工会議所しかあり得ないと思っております。

話は変わりまして、企業で SWOT 分析を行う事があると思いますが、私なりに恵那市の SWOT 分析した結果、その strong（強み）と opportunity（機会）になるのは、やはり私はリニアだと思います。例えば恵那市民が飛行機を利用するとき、羽田空港かセントレアかでは、時間的に羽田空港の方が早くなり、リニア開業によって時間軸で書いた地図は大きく変わります。

今度、ベルギーに本社を置く、ヘレウスエレクトロナイトという会社が恵那西工業団地に建設されます。現在千葉県市川市にありますが、本社を移転されます。その理由はふたつです。ひとつは市川市よりも恵那市の方がベルギーから来るのに便利だということ。ちなみにそれはヨーロッパ中、世界中からも同じです。もうひとつは、本社からの指示で日本は地震が多く、いろんな災害が多いのでなるべく安全な場所ということで、行き着いた先が恵那西工業団地だったということです。

岐阜県駅と車両基地ができます。車両基地っていうのは、現在東海道新幹線では、品川と浜松にあります。リニアが全線開通しても、未来永劫、おそらくできるのはここだけです。

しかし、この駅を岐阜羽島とか三河安城にしてはならない。その差は何かって言いますと、時代を15年、20年遡って、栗東駅建設計画を振り返ってみるとよくわかると思います。栗東駅は、京都の東25キロのところであり、JR東海は栗東駅を建設予定としていました。ところが当時、知事選挙があり、新しい知事に当選した方の公約が、栗東駅凍結でした。

その理由は新しくできる新幹線の駅の栗東駅とJR在来線の栗東駅は3～4キロ距離があり、乗り換えができない。しかも25キロ行けば、京都駅があるからというものでした。25キロという距離は名古屋から多治見35キロ、高蔵寺24キロになります。普通で考えたら、高蔵寺から名古屋

屋に行って新幹線に乗ればそれで済む話です。ところが、どうして栗東駅を作ろうとしたかというのは、全然違う所に意味があります。

京都というのは世界を代表する観光地です。多くの観光客が訪れます。特に修学旅行、団体旅行も多くあり、その人達が新幹線で行くとどうなるかということ、新幹線に乗り京都駅で降りても大型バスを駐車するところがないのです。事実上、京都は新幹線で行けないと言う事になります。それはJRにとって非常にマイナスであるということで、25キロ離れた栗東市に駅を作り、駅周辺の広大な土地に駐車場、観光バスの拠点を作り、京都中心部へ観光に行く際に渋滞を避け、郊外へ行く時でも、アクセスしやすい状態である新幹線と陸路のハブにしようとしたのが本当のJR東海の狙いだったわけです。リニア名古屋駅も同じ状況です。

名古屋郊外、春日井、豊田の方がリニアに乗って東京行こうとしたら、車でここへ来た方が利用しやすいと思います。この駅はリニアと陸路の核にして、価値のある駅にしなければならないと考えます。これがふたつ目のSです。

品川から名古屋へ行くまでに4つの駅があます。ひとつめは橋本駅です。これはもう横浜みたいなものですので除外して、残りは3つの駅です。先日、大井川鐵道にSLの件で視察行ってきました。そこではSL乗車目的の観光客だけ注目して、黒字運営をしています。リニアに関してもおそらく日本、世界中から、単純にリニアに乗りたいという方が多くいると思います。その人がどの駅で降りるのか？これが競争になると思いますが、そこで大きな目玉になるのが私はSLだと思います。ただし、明知鐵道の線路を利用してSLで恵那駅から、明智駅まで行くのに2時間かかります。大井川鐵道は普通のお客さんはいないところでしたが、全員が、SLを利用していたら高校に通えません。そうすると本当の市民の足としての明知鐵道、そこの観光の目玉としてのSLにする必要があると思います。SLに関してはいろんな方に反応していただき、多くの支援のお電話をいただいております。

しかし、SLを走らせるには2台の機関車の修理費用、鉄橋・線路の補強によりインシヤルコストで10億7500万円かかります。また年間1億4000万円のランニングコストかかる試算ですが、経済効果は11億以上見込まれるという今の数字です。

現在、明知鐵道は赤字経営だから、そこにまた赤字を乗せるのかって議論もあります。明知鐵道の売り上げは年間9000万です。経費は2億5000万です。普通だと1億6000万の赤字と考えますが、これは果たして赤字なのだろうかということ。例えば国道19号線が赤字かどうかといった、売り上げは0円です。しかし年間いくらの経費がかかるかと言うと、トンネルの整備、ガードレール設置、横断歩道の引き直し、舗装、除雪なども必要です。しかも多治見工事事務所にはそれを管理する人が何人もいます。しかし道路に関しての売り上げは0円です。しかし数字が見えないから誰も赤字とは思わないし、生活に必要なだから、税金で賄っているという事です。

明知鐵道は道路に換算したら安い経費で収まっていると思います。SLと生活は別でしょうという意見もあろうかと思ひます。しかしこれは観光の目玉としてSLを走らせることによって、多くの人に世界から日本にそして恵那に来てもらって、地域全体が潤えるという話です。

観光整備費用として、岩村町の電線地中化や昔の町並み整備に7億7000万かかっています。大正村整備も6億です。そうした意味で、この11億というのは個人的には納得できるのではないかと思います。

しかもこの11億をなるべく負担を軽くするために、中津川市の落合宿の事例でクラウドファンディングがあります。クラウドファンディングでも、見返りを求めて投資をして配当を求めるとしく

みではありません。これは観光とかには適しませんが、わずかなりターンでふるさとチョイスとかふるナビを使って1億1000万円集めています。それと落合宿で使わなかったのが、企業版ふるさと納税です。企業版ふるさと納税は、例えば恵那市民が札幌市にふるさと納税をしたとすると、恵那市に払う税金を札幌市に変えるだけの話ですが、企業版ふるさと納税は若干違っておまして、事実上の給付金で、最大9割の税額控除ができる給付金です。これを利用すれば、私は実現可能なプランではないかなと思っております。商工会議所の皆さんの力で大いにいろんな意味で活動できると思います。この4月上旬にJR東海中村副社長がこの話を聞いていただけるということで訪問してきます。今後も前向きに検討を進めておりますので、皆様のご支援賜ればと思います。

今年は恵那商工会議所60周年となります。記念行事として10月2日に福澤克雄監督を講師としてお招きし講演会を開催する予定です。この福澤監督はTBSの映画監督で、学生時代はラグビー日本チャンピオンになった人です。身長190センチ、体重100キロあるそうですが、この人が3月上旬に恵那を訪れた際、岩村城下町を絶賛されました。この人が作る映画は、大体大ヒットするんですね。半沢直樹、陸王、私は貝になりたい等、次回は7月にスタッフを連れてもう1度視察に来るという手紙もいただいております。これもSWOT分析のS（強み）とO（機会）の一部に入れていいと思います。

結びに、おそらく明後日の新聞記事に出ると思いますが、ポーランドのマンガ博物館のスタッフが恵那市に来ます。マンガと言うとコミックの漫画と誤解するんですが、私もそうでした。それは葛飾北斎が膨大に残したスケッチのことをマンガと言うそうです。それはコミックの語源になったそうです。ポーランドにある国立マンガ博物館には約2万点の美術品を館に寄付した人が、北斎のファンで、自分のミドルニックネームにマンガを使用したほどです。恵那市中山道広重美術館と提携していきます。このポーランドのきっかけは何かと言うと、東京オリンピックの事前キャンプです。あの場所はトライアスロン、ハーフトライアスロンになったら世界大会でもできると、そんな場所です。

SとOがこの恵那市にはたくさん存在をしております。商工会議所も全力でそういったものを支援して、より活力のある恵那を築いていきたいと思っております。大変長くなりましたが、そんなことを申し上げまして、本日の私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。